

# 開館カレンダー

## 【おはなし会の開催について】

☆ 6月以降のおはなし会の開催は未定です。

再開の予定については、当館ホームページ、ツイッターなどでお知らせします。

ご不便をおかけしますが、ご理解の程、よろしくお願いいたします。

…休館日

6月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	



## 学芸部だより⑦

碑文が伝える近代鹿島～頌徳碑編～  
中原萬吉翁頌徳碑

中村公民館



近代に入り、都市化・工業化が進みますが、国家を支える中心は引き続き農業でした。そのため、日本各地で土地の条件に適した改良が加えられます。鹿島において、農業の近代化に尽力した一人が中村の中原萬吉です。

平坦地農業の短所を痛感した萬吉は熊本県の農事家松田喜一に師事し、農魂なくして農業の発展なしとの強い信念を抱きます。裏作蔬菜の促成栽培、養豚・養鶏組合の結成、農作物の共同出荷など、率先して地域の農家経営の近代化・合理化を図ります。そして、地元中村だけでなく、県下一円への農魂の普及に尽くします。

萬吉の恩恵を受けた中村区の人々は、その偉業を広く後世に伝えるため、昭和28年(1953)に頌徳碑を建設しました。現在、萬吉の頌徳碑は中村公民館に建っています。

## 司書のひとりごと…

ある朝、出勤しようと車の所へ行くと、運転席の横のガラスに鳥のフン！ティッシュで拭いても「かばいついて」取れません。「やられた～」と言いながら、慌ててペットボトルに水を入れ、何とか落としてバタバタと出勤。そして、仕事を終え帰宅しようと駐車場へ向かうと、今度はフロントガラスにツバメのフン。数日後には、また見覚えのある白い汚れが…。この時期、鳥のフンに悩まされる日が続きます。

まだ、いくら制限がありご不便をおかけしますが、ようやく開館できることになりました。みなさんに必要として頂ける図書館であるよう、職員一同これからも奮闘(フンとう)していきます！ (S)

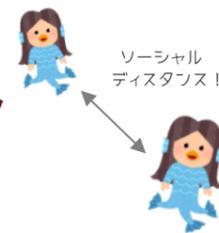


かしましみんとしよかんだより



- イベントの変更のお知らせ
- 館長コラム
- イベント中止のお知らせ
- 鹿島の昔話をホームページに掲載中
- 館内飾りに注目！！
- 視聴用機材リニューアル！
- 臨時休館中のあれこれ
- 学芸部だより⑦

2020年6月 223号



ウラケン・ボルボックス × 鹿島市民図書館

## 読書手帖を配布します

限定 300冊

配布期間：6月3日(水)～21日(日)

★ 新型コロナウイルス感染拡大のため、延期していました。

※ なくなり次第終了

※ 図書館内にて配布(来館者のみ)

予約・取り置きは対応できません。

お待ち  
しました～



## 【イベントの変更のお知らせ】

みんと4月号、5月号でお知らせしていましたイベントは、臨時休館にともない以下の通り変更しました。

■ 子ども図書館司書体験 → 夏以降に延期(受付は終了しています)

- おたのしみぶくろ
- おうちであそべる
- すごろくプレゼント

### 【開催延期】

新型コロナウイルスの感染状況をみながら開催を検討します。

※ その他のイベントにつきましては、2ページをご覧ください。

## …館長コラム「『命』の字源をたどって」…

以前、書道の作品作りで『命』という文字の小字数作品を作ろうと、図書館でこの『命』という文字の字源を調べて、なるほどと思うことがあった。今までは、なんとなく『命』の部首は、「ひとやね」だと思っていたが単純なものではなかったなと記憶があった。

それから10年ばかりして、ある大学の入学式の時、宮田亮平学長(現在文化庁長官)が入学式の式辞の中で、おもむろに筆と墨を出して、古代文字を毛筆で書かれた。



自分は書道に興味があったので、文字の良し悪しは別として、非常に興味深く注目した。

式辞を要約すると「皆さん、この文字は何でしょう。人がひざまずいて、箱を受け取っているような格好ですね。さて何と読むのでしょうか。(しばらく間を置いて)

これは『命』という文字です。人が儀礼の帽子をかぶり、一つの大切な『命』を神様の前にひざまずいて、祝詞を入れる四角い器に頂いていることを表しているのです。古代の人は、『命』を神様から、一人に一つずつ頂いていると考え、唯一無二の大切に大事なものとして受け取っていたのです。

今ここに、たくさんの新入生が集っていますが、皆さんの命は、一人に一つだけ、世界に一つだけの大切な命なのです。自分の命が大切であるように、人の命も大切でかけがえのないものです。亡くなったら再生できないのです。精一杯、互いの命を輝かせて、この学生生活を送ってほしい。」という話だった。

私たちは、多くの歴史や文化を受け継いで、今の時代を生活している。神事、祭事等で行われていた歌舞、音曲は、伝承という形で受け継がれ、その時代のいろいろな出来事や考え方は、文字を綴った本や書物に記録という形で保存されてきた。

「命」の文字一つとっても、「命」の持つ意味、成り立ちから、数千年の時を超えて、古代人の想いが立ち上がってくる。

漢字の意味成り立ちには、想像を超える背景があり、改めて字源に思いをはせてみるのも面白い。



図書館長代理 永池 守

## 鹿島市民図書館



一般財団法人 鹿島市民立生涯学習・文化振興財団  
〒849-1312 鹿島市大字納富分 2700-1  
鹿島市生涯学習センター エイブル

http://www.library.city.kashima.saga.jp  
TEL : (0954) 63 - 4343 FAX : (0954) 63 - 2217  
2020年5月25日発行

# 新 着 図 書 案 内

**予約サービスをご利用ください！**  
来館・電話・ウェブにて予約することができます。

## 『標準語に訳しきれない方言』

日本民俗学研究会／編 彩図社



方言の中には、一言では言い表せない感情や状況を的確に言い当てた言葉があります。「たごまる」「じゃみじゃみ」など意味がわかると「なるほど！」と方言の面白さや魅力を感じられます。

## 『一生勝負』

高橋 秀実／著 文藝春秋

なぜ彼らは、競技をやめないのか…。70歳以上の現役アスリート 24組の24通りの理由とは？「続ける」という困難をはつらつと好奇心をもって乗り越える姿に笑顔と元気をもらえる1冊です。



## 『首・肩・腰・ひざ 痛くないカラダの使いかた』

佐々木 政幸／監修 宮本 晋次／著 学研プラス



全身骨格矯正師である著者が肩こり、腰痛などの痛みを和らげるための解決方法を教えてください。日常生活でついやってしまう姿勢をイラストを使って解説。身体を上手に使うコツがわかります。

## 『暗鬼夜行』

月村 了衛／著 毎日新聞出版

突如浮上した、学校代表の「読書感想文」盗作疑惑。学校は「疑心」にのみ込まれ、教師、保護者、地元のネットメディアまでも巻き込み大混乱となる。単なるうわさか真実か…。誰もが宿す心の「鬼」に支配された人たちの狂騒劇。



## 『藤井 恵 傑作選』

藤井 恵／著 KADOKAWA

NO IMAGE

★コロナウイルス感染症の影響により、出版社からの表紙画像の使用許可が間に合いませんでした。

テレビ番組『3分クッキング』の人気料理家藤井恵さんにスポットを当てた傑作選。ちょっと目先を変えたアイデアおかずや野菜たっぷりのサラダなどすぐに役立つこと間違いなしです！

# 「本をゆずる市」・「雑誌の無料配布」の中止について

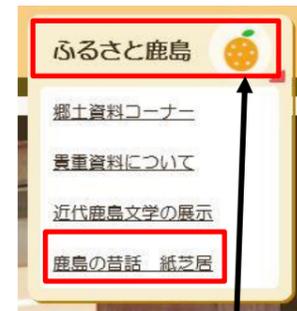
5月開催予定の「本をゆずる市」（本の無料配布）と6月開催予定の「雑誌の無料配布」は、中止します。

例年、たくさんの方が楽しみにしておりましたが、どうしても3密（密閉・密集・密着）の状況が避けられないと判断し、新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止の決定となりました。

次回開催については未定ですが、状況を見て開催を検討していきたいと思っておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。



# 鹿島の昔話がホームページでご覧いただけます！



みかんのマークが目印です！

当館で製作し、佐賀大学の学生さんに作画をしていただいた3つの紙芝居『ひょんちよろりん』『ちよづるひめ』『高津原水道ものがたり』がホームページからご覧いただけます。なんと読み手は、にわか劇団はっぴいかむかむの稲葉ゆう子さんです！当館ホームページの「ふるさと鹿島」をクリックし、「鹿島の昔話 紙芝居」を選んでください☆

# ☆ 視聴用機材が新しくなりました ☆



大人席、子ども席どちらの視聴席も機材が新しくなりました！以前の機材は、14年以上使用していたため度々不具合も出ていました。この間に、テレビはブラウン管から液晶へ、記録媒体はビデオテープからDVDへと大きく変わりました…。10年ひと昔とは言いますが、時代の移り変わりはあっという間ですね。

DVDプレーヤーはコンパクトになり、設置してみるとなんだかガラーンとしています。テレビは液晶になったので、見やすくなりました。

新しい機材で、DVDの視聴をより楽しんでいただけたと思います。ゆっくりと図書館で過ごすことができるようになりましたら、多くの方に利用をお待ちしています。

# 館内展示に注目！！



左の写真は、臨時休館前に準備していた館内飾りです。子どもの日に合わせて掲示をしていましたが、間もなく臨時休館となり、ほとんど利用者のみなさんの目に触れることができませんでした（泣）

これらの館内飾りはすべてスタッフの手作りです。来てくださる方楽しんでいただけるよう、季節に合わせて制作しています。館内のいろんな掲示板に展示していますので、ご来館の際は、ぜひ注目してください。



# 臨時休館中のあれこれ。

緊急事態宣言にともなう、突然の臨時休館に利用者のみなさんを驚かせてしまったことと思います。スタッフもどのような対応をしたらよいのか手探りの状態でしたが、情報収集を行い、話し合いを行いながら（3密は避けました！）臨時休館の期間を過ごし、開館の準備をしてきました。しかし、「図書館の人たちは休館の間、何をしているの？」って不思議に思われるでしょう？…そこで、臨時休館中のあれこれを紹介します！

## ◇ 除籍作業



利用が少なくなった本や破損してしまった本、また保存期限が切れた雑誌を除籍しました。

## ◇ ケーブルテレビの撮影



ケーブルテレビさんからの依頼でオリジナルパネルシアターの撮影をし、放送されました。

## ◇ 発注・納品



臨時休館が終了した後は、新しい本を手にとってもらえるように、本の注文や納品は通常通り行っていました。

## ◇ 開館準備

開館に向けて、普段できない所の清掃や飛沫防止のパーテーションを作成、設置しました。



## ◇ 備品検査



備品の管理がきちんと行われているか、チェックをしました。

